

研究機関：広島大学

研究課題名	外来化学療法における有害事象の発生状況についての観察研究
研究責任者名	広島大学病院がん化学療法科 教授 杉山 一彦
研究期間	2019年11月18日(倫理委員会承認後)～2025年3月31日

対象者

2009年4月から2024年3月の間に、広島大学病院 外来化学療法室で抗がん治療を受けた患者。

意義・目的

現在、がん化学療法は入院で行うことよりも外来で行うことの方が増えてきています。しかし、外来化学療法室で抗がん治療を行った場合の副作用の発生状況についてはまだ不明な点が多いです。今回、当院の外来化学療法を受けた患者さんに発生した副作用を網羅的に把握して、外来化学療法をより安全に提供するための情報を得ることを目的として、この研究を計画しました。

方法

本研究は、診療録（カルテ）情報を調査して行います。

カルテから使用する内容は身長、体重、性別、血液検査、病名、治療内容、副作用などです。

（個人を特定可能な情報は解析に用いません）

共同研究機関

ありません。

試料・情報の管理責任者

広島大学病院 がん化学療法科 教授 杉山 一彦

個人情報の保護について

調査内容につきましては、プライバシー保護に十分留意して扱います。情報が個人を特定する形で公表されたり、第三者に知られたりするなどのご迷惑をお掛けすることはありませんのでご安心ください。また、研究で得られた成果を学会発表や学術誌に発表することがありますが、個人を特定できる情報が公表されることはありません。

研究に資料を提供したくない場合はお申し出ください。お申し出いただいても不利益が生ずることはありません。

問合せ・苦情等の窓口

〒734-8551 広島市南区霞 1-2-3

Tel : 082-257-5981

広島大学病院 がん化学療法科 教授 杉山 一彦（研究責任者）

広島大学病院 がん化学療法科 助教 難波 将史（研究担当者）